

2024年の科学的介護経営 ～世界に誇れる日本の介護～

令和3年度介護報酬改定で最大のテーマとなった、科学的介護情報システム（LIFE）の本格的導入。この仕組みを通じて、介護施設・事業所におけるデータ提出とフィードバック機能の活用によるPDCAサイクルの推進・ケアの向上が目指されることとなり、令和3年はまさに「科学的介護元年」と呼ぶに相応しいものとなりました。

一方、政府の成長戦略実行計画では、「LIFEの情報等を用いた本格的な分析を実施し、次期からの介護報酬改定の議論に活用する」とされており、令和6年に控える医療・介護同時報酬改定でも主眼となることは間違いなく、確実な対応と活用が求められます。

そして、今回掲げられた「科学的介護」は、課題先進国として世界から注目される日本の介護が、さらに世界標準となる「日本式介護モデル」を確立するために不可欠なものです。世界に誇れる日本の介護、そのフロントランナーとして介護課題に向き合う事業者が目指すべき「2024年の科学的介護経営」とは何か。今回のセミナーでは、制度改革の最前線から、科学的介護を実践するための経営戦略、そして我が国介護の未来に向けたビジョンをお伝えします。

8/23
月

16:00 START
(CLOSE:18:00)

LIFE導入の意義と関連する加算取得のためのオペレーション改革等
活用・対応策を踏まえた「科学的介護経営」の実践

令和6年（2024年）度介護報酬改定以降の我が国介護の未来について
これからの介護事業者が共有すべきビジョン



<講師紹介> 齊藤 正行 氏

1978年に奈良県生駒市で生まれる。2000年3月に立命館大学卒業後、コンサルティング会社に入社し飲食業のコンサルティング、事業再生等を手がける。その後、介護業界に転身し、老人ホーム会社の取締役運営事業本部長、デイサービス会社の取締役副社長を経て、2013年8月に株式会社日本介護ベンチャーコンサルティンググループを設立。2018年6月に法人種別・サービス種別の垣根を超えた介護事業者の横断的組織である一般社団法人全国介護事業者連盟の設立に参画、2020年6月に理事長に就任。そのほか介護団体・法人の要職等を兼任し、介護業界の発展に心血を注いでいる。著書に「世界に誇れる日本の介護」（ばる出版）。

参加費 5,000円 （介人研会員：3,000円）

開催方法 オンライン（Zoomを使用します）

申込み <https://forms.gle/rzrCZ3RpoiUBN5Pw5>

